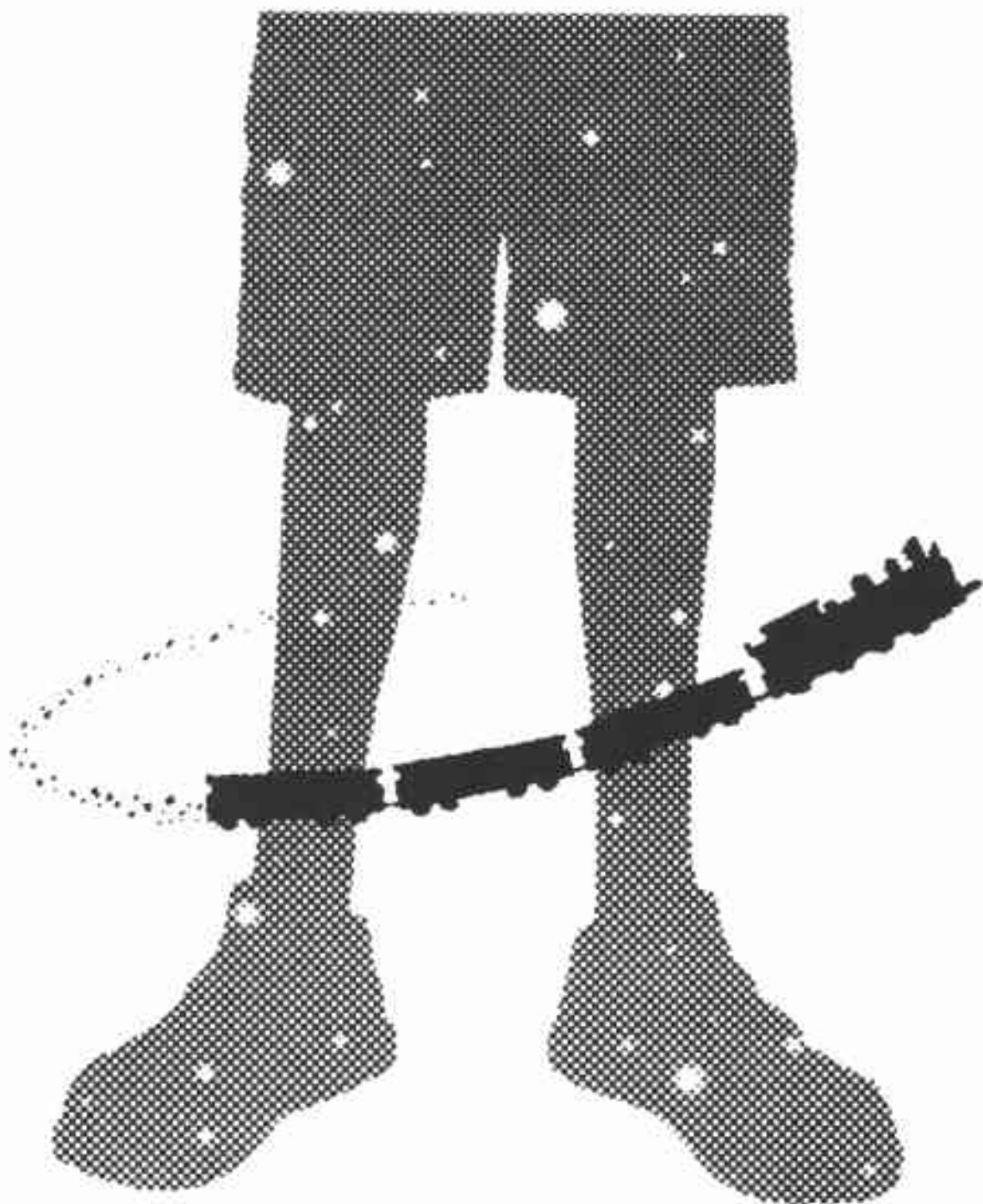


しんたびゅう

いいだ市民劇場 会報 vol. 109

銀河鉄道の夜



ミュージカル
銀河鉄道の夜

わらび座 ミュージカル

銀河鉄道の夜

台本 市川森一 演出 中村喙夫 音楽 甲斐正人 振付 鎌田真由美 美術/衣裳 朝倉 根



ジョバンニは病気のお母さんと二人で暮らしている。
お父さんは仕事で遠くに出かけたまま。
ジョバンニのクラスメイトたちはいつも彼をからかうのだった。

ケンタウルス祭の夜
落ち込んだジョバンニは誰もいない暗い丘にたたずんでいた。
その時…
“銀河ステーション… 銀河ステーション…”
という不思議な声を聞いた。

ふと気が付くと彼は夜の軽便鉄道の車室に座っていた。
そして前の席には、青ざめた顔をしたカムパネルラも座っていた。
親友との旅に胸を躍らせるジョバンニ。

旅の途中で様々な人たちと出会い別れていくうちに
ジョバンニとカムパネルラは
「ほんとうのさいわい」がいったい何なのかを考えはじめる。
それを探し出すために
どこまでも一緒に行こうと誓い合うのだが…

キャスト

ジョバンニ……………	窪寺	杏
カムパネルラ……………	丸山	有子
ジョバンニの母……………	黒田	ふみ
先生・学者……………	渡辺	哲
捕り鳥……………	近藤	真行
家庭教師……………	平野	進一
車掌……………	清水	廉(ステップス)
燈台守……………	和田	覚(フリー)
かおる子……………	古山	歩
ザネリ……………	川口	樹
信持手……………	森下	彰夫
牛乳屋……………	千葉	真琴
マルソ……………	末武	あすなろ
カトウ……………	小林	涼子

二十一世紀ならではの「銀河鉄道」を

演出／中村暉夫

宮沢賢治という人は、遠い所をずーっと見続けていた人だと思います。銀河は遠い所ですし、鉄道は遠い所に行く為のものです。

どうやらこの列車は、遠い死の国へ向かっているらしい。

この劇の始まりはケンタウルス祭の日ですが、祭というものは一年に一回しかありません。

この日が過ぎれば次までは遠い。人間は何かに憧れるものですが、身近なすぐ手に取れるものには憧れない。憧れるのは遠くなかなか手に入らないものでしょう。

「本当の幸せ」というようなものも手近にある筈もない。

あるとすればはるか遠くにある。宮沢賢治という人は

それをじーっと見守り続けていた人に違いない。

の賢治の代表作をわらび座がミュージカルにするのです。

脚本はNHK大河ドラマ(黄金の日日)などで全国の人々を感動させた市川森一氏。スタッフはあの「アテルイ」のメンバーです。透明感溢れる音楽と、力強いダンスがその憧れをくり拡げるでしょう。美しい装置や照明が幻想的な空間を現出させるでしょう。そして二十一世紀ならではの、新鮮な銀河鉄道が間もなく走り始めます。



ジョバンニ
窪寺 杏
くぼてら あんず

た。考えても考えても答えが見つからないようなことを自分の身をけずってでも突きつめていった。私もジョバンニと一緒に「本当の幸せ」を探る旅に出かけたいと思います。ジョバンニの心はあっちこっちに揺れます。私とおなじです。自分はえらい、と思ったり、自分はどうしようもない、と思ったり、絶えず行ったり来たり。

ある時はそれが細かなふるえだったり、ある時は立ってられないくらい大地震だったり、今も人はみんなそうだと思います。でも、求め続けることを忘れてしまったり、何を求めているのか分からなくなっている人もいっぱいいます。だから、今、

ただつらつらと書き進んでしまいましたが、死にも角にも、あなたの「銀河鉄道の夜」を大切にしたい、そして今生きている人みんなと一緒に銀河鉄道に乗って旅に出たいと思っています。

またお手紙書きます。どうぞお元気です！ 2003年・冬 秋田にて

挿画 宮沢賢治様

今日、あなたが生まれ育った花巻に行ってきました。あなたの弾くセロの音が今にも聞こえてきそうな居心地の良い小さな家や、汗水流して働いていた畑、星に想いを馳せたであろう川辺など、どこもまだまだあなたの気配がして、なんだか私に沁みてきました。あなたはこれらの場所を何を感じ、なにを想い、生きたのでしょうか？

最近、私は折にふれ、生きること、そして死ぬことの意味を考えてしまいます。考え始めるとワケが分からなくなって頭ががらがんします。しかしあなたは死ぬまでそれを考え続け、求め続けてい

「本当の幸せ」を問いつづけている

「銀河鉄道の夜」に登場する主人公ジョバンニの親友であり、心の支えであるカムパネルラ。彼は、ジョバンニと銀河鉄道と共にいる。そして、地上で生きていくジョバンニと、星になるカムパネルラとの別れの時「どんなに淋しく、苦しい旅になろうとも急は諦めず強く生きろ。たとえ僕は銀河の果てにいたとしても、僕の心はいつも君のそばにいて、君と一緒に旅をするだろう」とカムパネルラは歌うのだ。

彼のことを考えると、私はいつも自分の命運を思うのです。私が淋しくつらい時、そして絶望感におちいった時、母親はその都度銀河の上から励ましつづけてくれた。心の底からいとおしく思う母は、まさしく私の心の支え、カムパネルラなのです。

舞台を観てくださる一人一人の中にも、かけがえのない大切な人がいて、星となった人もいるかもしれない。そんな「心の中の一人」として、カムパネルラが見られたら幸せです。

宮沢賢治の本を愛むと、心が洗われ優しい涙が出てきます。「本当の幸せ」を生きたら、37歳の短くも美しい人生を送った賢治。「本当の幸せ」、文字にすると5文字。でもこの言葉のなんと深いことか。この言葉を問いつづけている、カムパネルラを人生かけて遇います。管絃、劇場でお会いできる日を楽しみにしております。



カムパネルラ
丸山 有子
まるやま ゆうこ

携帯電話は
電源を切りましょう
会場内での
飲食は禁止です

上演中のマナー違反行為は、会場に居合
わせている他の**会員全員**に対して**迷惑**をかける
ことになります。涙を誘うクライマックスシー
ンで、携帯電話の着信音を鳴り響かせてしまつた
ら、迫真の演技も折角の熟演も、すべて台無
し。会場に居合わせた650名の人々に、重大
な迷惑をかけたことになります。



おしゃべり・飲食も、「禁止、禁止」と会報で書
き、さらにアナウンスなどでお願いしているにも
関わらず、なかなかなくなりません。自宅のリビ
ングでテレビを観ているわけではありません。マ
ナーを守って皆が快適に鑑賞できるよう、お互
い気をつけましょう。お菓子や飴を持ち込んで
の、あげたりもらったりもおやめください。



本日の公演は
休憩がありません。
開演5分前に
席詰めをします。
横移動のみ可、
前後移動はできません。

本例会『銀河鉄道の夜』は上演時間1時間45
分で、途中休憩がありません。よって(総会での
取り決めに従い)開演5分前に「席詰め」を行な
います。18時30分に1ベルが鳴り、その後のア
ナウンスの指示に従って、客席センターに向
かって横方向へ席詰めをして下さい。

席の移動は横方向のみです。縦方向(前後)
への移動はできませんので、決して前の席へ
移動なさないようにお願いします。

お手元の座席シールは「席詰め」を行なった
時点で効力を失います。開演時間に遅れます
と終演まで指定の席には座れませんので、ご了
承をお願いします。

☆休憩がありませんので、トイレなどご用の方
は、開演前におすませください。

ステージ

横	へ	→						←	横	へ
		→						←		
		→						←		
		→						←		
横	へ	→						←	横	へ
		→						←		
		→						←		
		→						←		
		→						←		

おめでとう！
「マリオネット&金壺親父…」
前例会を1名クリア!!

いいだ市民劇場第108回例会、マリオネットコンサート&人形劇団ブーク公演『金壺親父恋達引』、いかがでしたでしょうか？

「ミニコンサートと人形劇」という、今までにないパターンの例会でしたが、ポルトガルギターとマンドリンが奏でる、心に染みわたる魅惑のメロディー。人間よりも人間っぽい人形たちによる抱腹絶倒の人情喜劇。それぞれ単独で観て(聴いて)も満足 of 公演でしたが、これらが組み合わせられたことによる相乗効果で大満足。とても素晴らしい例会になったと思います。

人形劇(二題)だけなら1回55万、3回やっても165万という金額の魅力もあって、県内の団体は早々に例会内定。しかし飯田としては「人形劇ならフェスタで安く沢山観られるのに、人形劇だけの例会をやるのは難しいなあ」と悩みました。ミニコンサートと金壺親父…のセットなら、例会として魅力的ではあっても、今度は上演料が1回95万で、2回やれば190万になってしまうため、(出雲の阿国との絡みもあって)金額的に厳しい…との板挟み。前回の会報にも書きましたように、今回の例会は、文化会館が共催してくれたことで実現ができた次第です。例会翌日寄せられた感想文で『昨日の公演、楽しかったです。先に演奏を聴いておくだけで人形劇の見方も違いました。そして、ますますポルトガルへ行きたくくなりました。(笑)』といった声をはじめ、評判も上々でした。素晴らしい舞台を聴かせ見せて下さったマリオネットのお二人、人形劇団ブークの皆さんに、あらためて拍手を贈りたいと思います。

会員数も、運営担当サークルの皆さんの力で、前例会1名クリアで迎えることができました。

冬場で運担年度の1本目でもあり、担当サークル数13だけでの奮闘でした。定期総会で決めた「金壺での入会に



限り、会員の紹介があれば入会金免除」をアピールしたところ、数名の入会者がありました。これを追い風に、担当サークルでも最後の一押しを続け、例会日ギリギリではありましたが、1名クリアの声をさく事ができました。

事前・当日の係分担では、いつもより搬入・搬出は楽(5tトラックとワゴン車のみ)でしたが、全体の人数が少ないせいもあって、係分担にはやや手薄な部分も発生してしまいました。文化会館側に会場費・暖房費をもってもらった他、託児も持って頂け、経費的にも大助かりでした。受付態勢が「会員用」と「一般用」と必要だったりして、普段と違う面もありましたが、特に混乱もなく、盛況のうちに無事幕を下ろす事ができました。終演後のロビーでは、マリオネットのお二人がCDへサインをしてくださったり、ブークの皆さんが人形を持ってお見送りをしてくださったりと、にこやかな雰囲気でした(写真)。

皆さんお疲れ様でした。

「マリオネット&金壺」新入会

みどり	2	なががわ	2
花てまり	1	はたなか	2
かやの木	1	ささき	1
リンダ	1		
さくらんぼ	1		
グリーンピース	1		

※個人情報保護の観点から、会員個人名の掲載は控えた方がよいとの判断から、サークル名と人数のみとさせていただきます。

2007年
12月例会

素敵な役者さんらによる、見応えのある舞台

コメディー オスカー

劇団NLT



写真は前回のもののため、大沢さんが出演するかは未定です。

村井国夫

作 ◆クロード・マニエ
訳 ◆梅田 晴夫
演出◆鶴山 仁

出演◆
村井 国夫
渡辺 力
伊東 弘美
/他

【あらすじ】 バルニエ石鹸の若きエリート社員、クリスチャン・マルタンは、会社の機構(からくり)を見事に操って大金をつかみ、社長令嬢ジャクリーヌに求婚する。ところが彼が「社長令嬢」と思い込んだのはとんだ人違いで、本当の社長令嬢コレットは運転手のオスカーと熱い仲。しかも子供まで出来ているとあって父親のバルニエ社長は大弱り。そこへ玉の輿で男爵夫人となって家を出て行く女中ベルナデットが、ご丁寧にもカバンを取り違えて出て行ってしまふ。取り違えたカバンには宝石入りの会社の裏金が入っていたため、バルニエ社長の困惑は絶頂に。話は出入りのマッサージ師や家族全員を絡めて大混乱となり一家の主人バルニエ社長は発狂寸前。3億2千万円入りのカバンと3億2千万円の宝石の入ったカバンと、そしてもう一つ“ブラジャー”が飛び出すカバンが大活躍する抱腹絶倒のヴァールヴァール劇。

【解説】 1971年にNLTで初演されたヴァールヴァール劇(フランスの風俗コメディ)『オスカー』を再演します。一昨年の上演では全く年月を感じない現代劇として上演されました。演出はNLT初演出の鶴山仁氏。「オスカー」の笑いの構造は、恋人の取り違え、持ち主の違うカバンの取り違えですが、鶴山氏の緻密な演出でそのすれ違いの様を描き、大きな笑いで観客にお届けします。笑えば笑うほど、経営者と従業員のおかしな関係が浮き彫りになる「オスカー」。コメディを演出する鶴山氏の研ぎは周知のことですが、おかしさの中に必ず、ヴァールヴァール劇の特徴である登場人物の悩みや人生が描かれます。

皆の力で、飯田へ呼んでゆきましょう！！

2008年
3月例会

明日の幸福

劇団朋友

竹脇無我

長山藍子

作 ◆中野 實
演出◆石井 ふくこ

出演◆
竹脇 無我
長山 藍子
ほか
劇団朋友



【あらすじ】ある経済団体の理事長をつとめる松崎家の当主・寿一郎には、何でもいから早く大臣になりたいという権勢欲と家宝の埴輪に執着する物欲があった。ドラマはこの二つの欲をめぐって巻き起こる三世同居の大家族、松崎家の人々を描く人間喜劇である。家宝とされている国宝級の埴輪の馬に、祖母、妻女、新婚の嫁三代につながる過失の秘話が隠されている。女性はいかに新しく生きようとしても、いったん家庭に入ると、結局旧い因習にとらわれ自分を縛る事になる。因習を家法の埴輪で象徴し、それから抜け出ようとする女性自身の覚悟の行動を描くことによって、作者は「明日の幸福」を暗示する。

スピーディーな筋立ての巧みさと機関銃のように打ち出される台詞の数々、多くのトリックを用い巧妙な手法で観客の目と耳を捉えてはなさない。

1954年度芸術祭賞受賞、第7回毎日演劇賞脚本賞受賞。

昭和期新派の代表的演目の一つであり作者の最高傑作である。

【推薦文】この作品は、昭和29年に明治座で初演されて以来、新派の演目として繰り返し上演されてきました。戦後の日本の家族制度を鋭く見詰め、半世紀を経てもなお色あせない風刺の効いた傑作喜劇です。

松崎家三代の嫁を中心に、女性を家庭に縛り付けている元凶の象徴としての、〈埴輪〉をめぐって巻き起こる人間喜劇。テンポのよい展開、小気味よい台詞回し。劇団の看板女優・長山藍子を中心に、金田龍之介、渡辺美佐子、竹脇無我といった魅力の客演を迎え、安心してみることができ、笑いながら〈家族〉や〈幸福〉について考えさせられた舞台でした。

上田・小林

事務局通信

2007/3/12 vol.109

リフレッシュの季節です

春。新入学、新社会人、新生活…。ちぢこまっていた冬の季節を抜け、一斉に芽吹く季節です。毎年この時期になると、「何か新しいこと始めたいなあ」と思う方も多いことでしょう。

新しい方を誘うにも良い季節。あなたが入会してから今日までの舞台との出会い・感動を伝えて、仲間の輪を広げましょう。新しい方を加えることで、サークルもリフレッシュ。

なお、この時期進級・転勤・転居など、市民劇場へ登録してあるデータに変更が発生しやすい時期でもあります。変更事項があれば、お早

めに事務局へ
ご一報くださ
い。



**「菜の花らぶそでい」は
6月8日(金)です**

現在使っている会員証(黄色)では、『菜の花らぶそでい』の日程が「6月4日(月)」と印刷されておりますが、これは印刷後変更となり、実際には**6月8日(金)**が例会日となります。会員証の印刷は昨年(2006)の5月で、その頃は4日の予定だったのですが、会場使用が他の団体と重なってしまい、8日に変更となりました。お手数ですが、各自で会員証の該当箇所を訂正しておいてください。なお、『菜の花らぶそでい』の座席シールと同時に新しい会員証を発行しますので、そちらは6月8日(金)になっている(筈)です。


★まだ思案中ですが、会員証の表紙に「会員歴」を印刷してみたらどうか?…と考えています。20年来の会員なら【20】、入会して5年なら【5】といった感じです。数字じゃ味気ないなら★とか☆を組み合わせるなど…。

果たして実現するかどうか…新会員証が届いたら、表紙にも注目してみてくださいね。

**このあと予定されている
例会ラインナップ**
 例年は、会館の利用状況・季節・行事・地域のイベントなどを考慮し、3・6・9・12月での実施を予定しています。

**青年劇場
菜の花らぶそでい**
 『遺産らぶそでい』で我々を楽しませてくれた、高橋正岡作。狂牛病問題など、食の安全を考える。
 2007/6月8日(金)
 開演◆18時30分
 会場◆飯田文化会館

**スイセイ・ミュージカル
広い宇宙の中で**
 旺なつきが魅せる! 歌も踊りもパワーアップしたスイセイ・ミュージカルが贈るハートフルミュージカル。
 2007
9月



**イツ・フォーリーズ
天切り松**
 松蔵(左とん平)が語る、古き良き江戸の名残の義理人情。六尺四方から先へは聞こえないという夜盗の声音“闇がたり”で語る、遙かな昔の物語。
 2008
6月



**劇団朋友
明日の幸福**
 石井ふく子作演出、長山藍子、竹船無我ら出演。テレビで語る世間は鬼ばかり!等で活躍中の面々による新話劇。
 2008
3月



**劇団NLT
コメディアー オスカー**
 抱腹絶倒のグールヴァール劇(フランスの風俗コメディアー)を鶴山仁演出、村井国夫主演でお届け。
 2007
12月



ポスター協力店(spot)募集!

いいだ市民劇場例会ポスターを、年間を通して掲示して頂けるお店・場所を募集します。1サークル3枚を目標に、皆で掲示場所を依頼し、増やしてゆきましょう。

現在いいだ市民劇場は年間4例会。3ヶ月に1回くらいのペースでやってくる公演のポスターを、その都度掲示していただけるお店(場所)を「ポスター協力店(spot)」として依頼し、徐々に増やしてゆきましょう。

今回のポスターは、本誌に折り込んである、A4のチラシです。担当の協力店へお届けください。また周りに依頼できる協力店がある方は、チラシを持って、依頼をお願いします。

掲示スポットとして協力していただけることになったお店(場所)は店名・住所・電話番号などを一覧表にまとめ、会報などでご紹介させていただきます。ホームページにて掲載します。

ホームページでは、クリックひとつでお店の地図を表示できます。試してみてください。

会費自動引き落としへの完全移行にご協力を

現在、会費を現金で納入されている会員は約90名。受付業務を省力化する為に、極力自動引き落としへの移行を、お願い申し上げます。

移行手続は、「振替依頼書」という専用の用紙に口座のデータを記入し銀行印を押して、事務局へご提出いただくだけです。

▼事務局受付時間
昼15時～夜19時迄
▼定休日
土・日・祝日

※お越しになる際は念の為、携帯・PCなどでインターネット上の事務局カレンダーを閲覧して下さい。

長野県演鑑連の情報

◆毎年この時期は、劇団・創造団体に「長野県演鑑連へ向けた例会候補作品」を提出していただく時期です。

◆継続中の作品から取下げを引き、新作を加えた中から、各地の役員会、長野県の企画会議などで討議を重ね、20本程度の討議対象作品を決めてゆきます。これらを1冊にまとめた「作品資料集」を今年も8月頃には作成し、皆さんのお手元には9月の例会辺りでお渡しできる予定です。

◆作品資料集をベースに、各サークルで企画についての話し合いをぜひお願いします。

◆松山・坊っちゃん劇場でのミュージカル『坊っちゃん』は、とても楽しく娯楽色豊かな舞台でした。観光の目玉に観劇—この取り合わせはなかなか乙なもの。いつか例会にと思える出来でした。

☆飯田での公演を、都合で鑑賞できない場合、事務局へ事前に申込み、会員証を持って行けば、県内の他市民劇場公演を鑑賞できます。

☆又、飯田で上演しない作品の場合は有料にはなりますが、低額(2000円)で鑑賞できます。

■県内公演日程■

「鯉河鉄道の夜」

料金は不要

茅野 03/08

伊那 03/09

大町 03/10

飯田 03/12

長野 03/13

松本 03/14-15

上田 03/16-17

朗読劇「月光の夏」

7/12～7/25に県内を巡演します。詳しくは次回会報orWEBにて。

■観劇をご希望の方は必ず事前に、飯田の事務局へご連絡ください。連絡無しで直接会場へ行っても入場できません。ホームページでもう少し詳しくご案内しています。時間・会場などはこちらをご覧ください。

担当皆の力で「菜の花らぶそでい」例会を成功させましょう!!

運営担当は

感動を伝える当番です

1年に1度の運営担当。例会当日の係分担はもちろんですが、例会までの2ヶ月間で、1サークルで1名プラスができるよう、周りの人に演劇の魅力・感動を伝える当番でもあります。

スタートとなる1回目の担当会議を、下記日程で行ないますので、ご参加ください。

「菜の花らぶそでい」

運営担当会議①

2007年4月10日(火)

夜7時00分から

羽場公民館2階

運営担当会議の開催目安は、例会の2ヶ月前からスタートし、

- ①回目が例会の60日前
- ②回目が40日前
- ③回目が20日前です。



例会は6月8日(金)ですから、だいたい①4月8日前後、②4月28日前後、③5月18日前後となります。4月は新入学・新年度の季節で忙しいとは思いますが、第1回目を4月10日に設定しましたので、万障繰り合わせて、代表者だけでなく、サークル員お誘い合わせの上、お集まりください。

★他地域の会員さんの感想文より抜粋★

こんなに笑って、感動して、おまけに大事な問題に関心を持たされた例会は近頃なかった。マスコミの情報の上面をなぞって知っているつもりで済ましてはいなかったか。日本の穀物自給率が低いことくらいは知っていたが、なぜ大豆が95%輸入品なのか、なぜ日本の農家は大豆や菜の花を栽培しなくなったのか。そんな疑問を持ったことはなかった。だからといって、『菜の花らぶそでい』が学習会のような押しつけがましい舞台にはなっていないかった。ここがこの作品の輝いたところだ。…(以下略) お楽しみに!

スイセイミュージカル
『広い宇宙の中で』



元宝塚・旺なつきさんの歌・演技が光る! 耳に心地よく残る♪広い～宇宙の～中…のメロディー。笑えて泣けて心が暖くなるミュージカルです。

2007/3/1現在の
会員数 636名
99サークル

市民劇場情報は携帯で

パソコンからでも
携帯電話からでも
今すぐアクセス!!

<http://o-lrl.com/lsg/>

◆会報は例会の都度発行ですので、季刊誌並みで即時性が弱いです。スケジュール等の情報は、インターネットでお知らせしておりますので、携帯もしくはパソコンで公式サイトをご覧ください。

◆事務局は、土曜・日曜・祝日は完全定休です。また出張・会議など諸事情により事務局を閉めることが多くあります。お越しになる前には必ず24-9865へ電話をおかけになり、受付しているかを直前にご確認下さい。

◆郵送・電話で済むものは、なるべくそれらでお済ませください。

column

「暖冬」というレベルを通り越して、冬という季節すら消滅してしまったのではないかと思う今シーズンでした。暖かいのはなにかとありがたいと、喜んでばかりもいられないです。それどころかこの異常ぶりには危機感を抱きます。新しいモノ好き、古いものは捨て消費消費に明け暮れる今の世の中を、昔ながらの“長持ちさせる”生活に戻してゆく必要を、つくづく思うこのごろです。

前にテレビが壊れた話しを書きましたが、その後、廃棄寸前1985年製のテレビを貰い受け、現役に。地上波デジタルなんのその、どうせCSしか見ないし、このまま10年は壊れないで現役でいて欲しいと願う、今日このごろです。

劇団スイセイ・ミュージカル

広い宇宙の中で

The Musical

『フェーム』『オンリーワン』『夢があるから!』など
国内外で高く評価されるミュージカルを創り続けてきた
劇団スイセイ・ミュージカルがお送りする
待望新作オリジナル・ミュージカル。
旺なつきが魅せる!ハートフルミュージカルです。

演出・台本・作曲…西田直木
作・編曲……………坂部 剛
振付……………吉田 潔



9月4日(火)
18:30開演
飯田文化会館

いいだ市民劇場 入会のご案内

いいだ市民劇場とは、飯田の街へ演劇を呼びたい・観たいと思う仲間が集まって、月々の会費(大人2,000円、学生1,000円)を出し合い、年に4回の演劇公演を実現している、営利を目的としない文化団体です。会員になると、呼ぶ作品を企画することから始まって、公演当日までの準備・運営など、他ではなかなか味わえない楽しい出来事に参加できます。もちろん、公演当日は指定席でゆっくりと生の舞台を鑑賞できます。現在の会員数は約600名。あなたも今日から「飯田の地へ演劇を呼ぶ会」の仲間になりましょう!

★入会時には会費の他に入会金2,000円が必要です。
★なるべく3名以上の新規サークルをつくるか、もしくは既存のサークルに追加加入してください。

その他、詳しくは事務局へお問い合わせください。

いいだ市民劇場
TEL0265-24-9865

〒395-0051 飯田市高羽町3-5-6

受付時間●午後3:00～午後7:00

いいだ市民劇場 入会申込書

サークル名			
氏名			生年月日
フリガナ			年 月 日
住所			
自宅電話			
勤務先			
事務局印			
MEMB-NO		DATE	

青年劇場

山下惣一 原作

高橋正樹 脚本

松波喬介 演出

菜の花 らぶそでい

この舞台は

「菜の花」がキーワードに

親子の対立・家族の問題

等を絡めながら「農」と「食」

絵夫間いかけの社会派喜劇です。

2007年6月8日(金) 6:30開演・飯田文化会館

家と食

松波喬介(演出家)

長男の嫁と家

「菜の花らぶそでい」は日本の農業を「グリーンツーリズム」をめぐる親子の対立と食文化の問題として描いた喜劇である。二〇〇〇年に初演されて幸いに好評であった。高橋氏との初仕事であった十三年前の「遺産らぶそでい」も、日本の農業問題を遺産相続と姉妹の争いで描いたユニークな喜劇であった。八年間三百回の全国巡演をおこなったが、この間に作者には六回の改定をお願いする結果になった。農業を取り巻く環境がめまぐるしく変わるからである。特に日本は「鶏の目農政」といわれるほどアメリカの輸入戦略に振り回されてきたのである。そして生産者と消費者が対立する関係が人為的につくられてきたといってもいいだろう。やっとな食の安全性をめくって消費者が目覚め「無農薬」「産直」など生産者との協力が進んできたところである。

さて、今回の「菜の花らぶそでい」も大改訂となった。初演からの二年間で農業状況が変化し、作者の強い希望で「後継者」と「家」という問題が書き加えられた。「遺産らぶそでい」の姉妹編といった趣きになった。演出の立場からすると新作に取り組む心境である。私は北海道の出身なので「ふるさと」とか「家」という感覚が他府県の人たちと違うようだ。私だけかもしれないが全くといっていいほど執着がない。二百年も先を見越して捨の家を建てるという意識にはなれない。もつとも目前の家を建てる経済とは全く無縁でもあるが、「心のふるさと」は日本の「家内農業」が増ってきた心象だろうか。

劇団の食事情

「遺産らぶそでい」の連演の時に、芝居が稲作農家の話だから旅の間だけでも「ご飯を食べよう」となどと話し合ったものである。わが劇団は一年の内、五ヶ月は旅館である。ひと旅はほぼ一ヶ月で、その間はホテルを転々とするようになる。この間の食事といえば朝食はホテル・バイキング、昼は弁当またはコンビニ食、夜も外食かコンビニ食というのが定番である。学校公演では揚げ物の多い弁当が一週間もつづくことさすがにうんざりする。健康管理はあくまでも個人の責任だが、野菜不足を補うために旅行の厚生部が菜屋にサラダを用意することもある。一般公演では主備者が手作りの家庭料理を用意して下さることもあり、地物と旬の味をいただけるので何よりの「馳走」で、大喜びである。

昔は日本旅館が主だったので全員揃って食事ができた。焼酎を一杯やりながら先輩の演劇談話を聞いたり、お互いの「芸術論」をたたかわしたりしたものである。挙句の果て、いまだに語り継がれる武勇伝に発展したりもした。こうした旅を通して劇団作りも成されたのである。「酒・食はかつては「樂」」「酒らぶの場」であった。今はビジネスホテルでテレビを見ながらコンビニ食の「強食」である。たまには連れ立って居酒屋にも行くが度々では財布がもたない。これが「感動の舞台」の裏側である。東京公演は稽古、チケット売り、アルバイトときつい。「菜の花らぶそでい」の稽古場もコンビニ食の花盛りである。

(2003.5)